



月2回刊=1608号
2022年8月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

人勧闘争スタート

人事委員会に要請書提出



▲菊池人事委員会事務局長に要請書を手渡す佐藤地公共闘議長(左)



▲22県人勧に向け賃金水準改善等を要請する地公共闘四役(奥)

8月23日、岩手県地方公務員共闘会議(議長・佐藤工岩教組委員長)は、2022県人事委員会勧告に向け21項目からなる要請書を菊池人事委員会事務局長に提出し、今年の人勧闘争をスタートさせた。
地公共闘は、賃金改善や超多忙化の解消、両立支援の拡充などの要請実現に向けて、県人事委員長あて「大型ハガキ」署名行動を取り組む。多くの組合員の結集を呼びかけていく。

要請にあたり、佐藤議長から、「バブル経済崩壊後のこの三十数年間、給与制度の総合的見直しや退職手当の大幅な引き下げ、高齢層の昇給抑制など、公務員の実質生涯賃金は下落し続けている。それに輪をかけて、公務の領域全てが多忙化から超多忙化している。公務員をめざす人がいなくなれば日本は崩壊する。そうならないよう、第三者機関としての人事委員会の機能を果たしていただきたい。全ての公務職場で健全

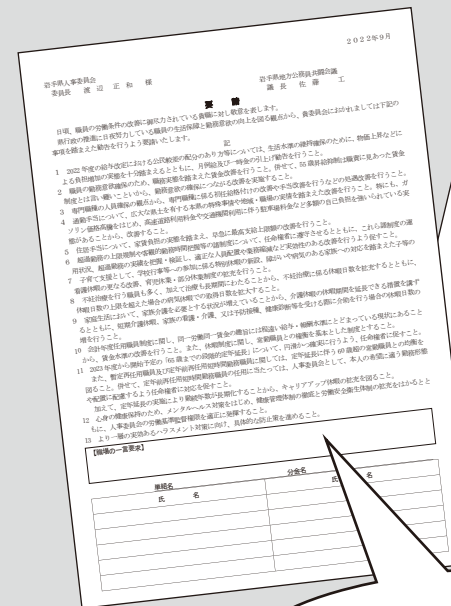
に仕事を進めることができるといえる」とあいさつした。
菊池事務局長は「日々それぞれの職場で職務に専念している職員の給与と勤務条件について、情勢に適合した適正な水準を確保することが当委員会の使命・役割と認識している。めざす方向は基本的には皆さんと同じ。一方で、県民の理解も必要。中立的かつ公正な第三者機関として、適切に対応していく」と述べた。
人事院勧告や12月議会日

程を踏まえれば県人事委員会勧告闘争は昨年と同時期が想定される。地公共闘は人事委員長あて大型ハガキ署名行動を展開し、人事委員会事務局長交渉時に手交する。人事委員会に対し、

人事委員長あて 大型ハガキ署名に結集を!!

第1次集約：9月22日

第2次集約：9月30日



ここに職場の実態をふまえた
切実な要求を記入してください

県職労第121回中央委員会
◆日時 2022年10月15日(土) 13時
◆場所 自治労県本部 大会議室

- ①賃金水準改善
公務員の生計水準維持確保のため、物価上昇などによる負担増加の実態を十分踏まえ、公務員労働者の月給・一時金の引上げ勧告を行うこと。
- ②勤務意欲確保
職務実態を踏まえた賃金改善を行うこと。併せて、度重なる賃金抑制により、高齢層職員の勤務意欲の低下が著しいことから、55歳昇給抑制の廃止を含めて勤務意欲の確保につながる改善を実施すること。
- ③諸手当改善
通勤手当について、多額の自己負担が発生している実態や、広大な県土を有する

- ④長時間労働の是正
超過勤務の上限規定や客観的な勤務時間把握等の諸制度について、任命権者に対して遵守させるとともに、これらの諸制度の運用
- ⑤住居手当については、長年にわたり支給上限額が改定されておらず、実態と乖離している状況を踏まえ、早急に改善を行うこと。
- ⑥会計年度任用職員
会計年度任用職員制度に関し、同一労働同一賃金の趣旨には程遠い給与・報酬水準にとどまっている現状にあることから、賃金水準の改善を行うこと。また、仕事と家庭の両立支援の観点から、常勤職員との権衡を基本とした制度とすること。

第五世代

夏と秋の季節が交わる時期となった。今年の夏は大雨災害もある一方で、猛暑もあった。コロナ感染拡大も重なり例年にならぬ夏となった。このような夏が続けば体が参ってしまうのではないかと、大雨災害では多くの組合員が対応に従事し、コロナ対策の応援業務にも携わった。今年も夏休みを取れない組合員が生じることが懸念される。公務職場は災害などから逃れることはできない。このことから公務職場の体制確保は政治でもクローズアップすべき課題だ。しかし、岸田政権はコロナ感染拡大に歯止めをかけることができず、挙句の果てに感染者の全数調査を自治体判断で緩和の方針を示した。これこそ政治の無策の象徴であり、政治責任を果たさず、地方自治体に責任を押し付け続ける姿勢だ。岸田政権は参議院選挙に勝利し、黄金の3年間を手に入れたと報道されている。岸田政権発足から1年が近づくと、安倍元首相と同じ本質が明らかとなってきた。それを質すために「私たちが応援した「鬼木まこと」の存在が鍵となる。政治を変えるためにも、公務職場の現場から警鐘を鳴らし続けることが重要だ。



二戸支部

二戸支部長には長嶺達也さん(二戸農業改良普及センター分會)、県庁支部長には佐々木琢磨さん(医療政策室)がそれぞれ選出された。役職・氏名は次のとおり。

- 支部長 長嶺 達也(二戸農業改良普及センター)
副支部長 大里 達朗(県北農業研究所)
書記長 伊藤 毅(二戸農村整備室)
書記次長 岩崎 有喜(二戸高等技術専科)
執行委員 菊池 彰(二戸保健福祉センター)
馬渡 伸(二戸土木センター)
菊池 寛人(二戸保健福祉センター)
小原 貴子(二戸農村整備室)
藤本 美明(二戸土木センター)
門田 君江(県北畜産衛生所)
会計監事 中家 武雄(二戸農村整備室)
齋藤 智子(二戸農村整備センター)

二戸・県庁支部で体制確立
二戸・長嶺支部長、県庁佐々木支部長



▲内水面水産技術センターの意見交換会のようす

盛岡支部・内水面水産技術センター分會は8月3日、センターの組織体制・施設管理等の強化に向けた意見交換会を開催し、昨年度の取り組み状況をもとに職域課題の集約を行った。
【主な意見】
○新規で海面養殖用の種苗を作るようになったが、今までの人数でやらなければならぬ。また、必要な予算も確保しなければならぬ。
○一番問題なのは施設の老朽化対策。管理棟が築52年経っており、2〜5年以内

施設の老朽化対策・研究費予算の確保を

試験研究連絡協議会 内水面・南部園芸

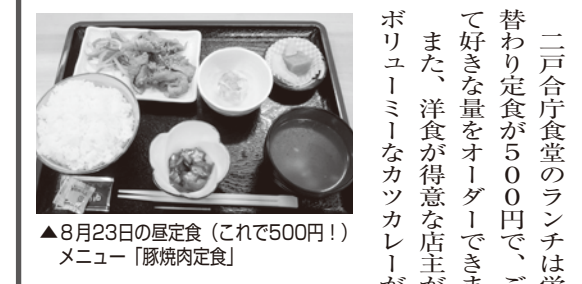
全面改修の議論は少し始まっているが、方向性はまだ進んでいないのが実態。
○維持修繕や施設整備について、施設の草刈りが大変であり、膝くらいまで伸びてしまうとダニなどが怖い。草が伸びると熊や他の動物の隠れ場所になってしまう。実際に熊が出てきて、捕獲した。見通しを良くする維持修繕・施設整備の強化を求める。
○施設管理でいろいろ業務が増えている状況の中で、当初予算要求の時点で規模を縮小する方向でセンター

の在り方を検討してくれと話があり、実際センターで抱えている業務と予算を握っている人の認識が合っていない。
○育児休業について、専門

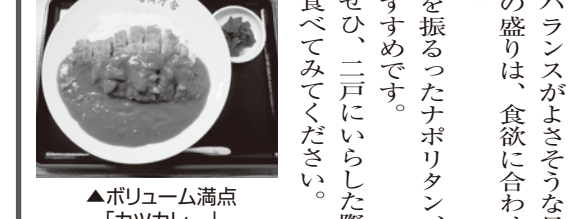


▲気仙・南部園芸研究室の意見交換会のようす

わたしの おすすめ ランチ
二戸支部編
二戸農業改良普及センター
長嶺 達也さん



▲8月23日の昼定食(これで500円!)
メニュー「豚焼肉定食」



▲ボリューム満点「カツカレー」

【県庁支部】
支部長 佐々木琢磨(医療政策室)
副支部長 佐藤 健(団体指導課)
書記長 佐々木克幸(定住推進・雇労働室)
書記次長 小原 大農(建設課)
書記次長 平嶋 正則(団体指導課)
執行委員 河野 誠(自然保護課)
神成 貞雄(森林保全課)
菊池 圭(医療政策室)
長谷川秀綱(健康国保課)

宮本雄一郎(水産振興課)
川村 一弘(観光プロモーション室)
藤村 淳人(税務課)
菊池 勉(管財課)
古舘 俊也(行政経営推進課)
葛巻美知子(農業普及技術課)
中村 貴文(ふるさと振興企画室)

スポット募集のお知らせ
これで安心! 2強タッグ
退職後のために今から積み立て
団体生命共済 + 長期共済
通常は年に1回の団体生命共済の加入・増額の機会を、今回は特別に設定しました!
この機会を逃さずに、保障の点検・見直しをしてはいかがでしょうか?
募集期間 2022年8月15日~9月9日
共済期間 2022年11月1日~満期日(枝1:2023年9月末日)
申込締切日 2022年9月9日(支部毎に期限を設定)
募集対象制度 団体生命共済・長期共済・税制適格年金・子ども保障満期金付タイプ

団体生命共済
組合員本人
F型+23コースなら死亡600万円・入院(日額)3,000円・通院(日額)1,500円
などの充実した保障がひとまとめで!
自治労共済生協の組合員だから利用できる「じちろう共済」
使わないのはもったいない!
長期共済
将来に備えた長期共済・税制適格年金
税制適格年金
組合員本人の年金給付に特化した制度です。
長期共済の加入条件
1. 団体生命共済にご加入の組合員
2. 免状日現在の年齢が満59歳以下の方
3. 健康告知が「通常就業者(高血圧引受緩和を含む)」または「準通常就業者」の方

的な業務は誰でもやれるような業務ではなく、制度自体を把握していない人が来ると問題が生じることがあるため、ただ単に穴埋めというだけでは制度上活用できない。頭数の問題ではない。といった声が挙げられた。
8月22日には、気仙支部・南部園芸研究会分會の意見交換会を実施し、安定的な研究費予算を望む声や、維持修繕費の確保からハ